



平成30年10月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年9月7日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東
 コード番号 7983 URL http://www.miroku-jp.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 古味 俊雄 (TEL) 088-863-3310
 四半期報告書提出予定日 平成30年9月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年10月期第3四半期の連結業績 (平成29年11月1日～平成30年7月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年10月期第3四半期	10,126	4.7	865	△15.1	1,010	△10.8	785	△10.3
29年10月期第3四半期	9,671	9.7	1,019	61.6	1,133	78.5	876	131.4

(注) 包括利益 30年10月期第3四半期 754百万円(△14.7%) 29年10月期第3四半期 883百万円(181.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年10月期第3四半期	270.39	—
29年10月期第3四半期	301.48	—

※当社は、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年10月期第3四半期	16,304	12,665	77.7
29年10月期	16,073	12,030	74.8

(参考) 自己資本 30年10月期第3四半期 12,665百万円 29年10月期 12,030百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年10月期	—	4.00	—	4.00	8.00
30年10月期	—	4.00	—	—	—
30年10月期(予想)	—	—	—	20.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、平成30年10月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年10月期(予想)の1株当たり期末配当金は4円00銭となり、1株当たり年間配当金は8円00銭となります。詳細につきましては「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年10月期の連結業績予想 (平成29年11月1日～平成30年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,200	5.2	970	△12.5	1,130	△9.8	850	△12.0	292.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成30年10月期の通期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年10月期3Q	3,005,441株	29年10月期	3,005,441株
-----------	------------	---------	------------

② 期末自己株式数

30年10月期3Q	100,307株	29年10月期	99,871株
-----------	----------	---------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

30年10月期3Q	2,905,369株	29年10月期3Q	2,906,366株
-----------	------------	-----------	------------

※当社は、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成30年1月30日開催の第86回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、平成30年5月1日を効力発生日として、普通株式を5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施しております。

なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年10月期の配当予想及び連結業績予想は以下のとおりとなります。

1. 平成30年10月期の配当予想

1株当たり配当金 期末4円00銭 年間配当金合計8円00銭

2. 平成30年10月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期58円51銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が継続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。しかしながら、海外においては米国・中国間の通商問題や欧州経済の不確実性等、依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は10,126百万円(前年同期比4.7%増)、経常利益は1,010百万円(前年同期比10.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は785百万円(前年同期比10.3%減)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 猟銃事業

米国市場においては、引き続き主力の上下二連銃及びボルトアクションライフル銃の販売が堅調に推移しておりますが、欧州市場は英国のEU離脱問題等の影響により販売が振るわず、売上高及び利益とも前年同期を下回りました。その結果、売上高は5,743百万円(前年同期比5.6%減)、セグメント利益(営業利益)は552百万円(前年同期比16.2%減)となりました。

② 工作機械事業

主力のガンドリルマシンの販売台数は後半やや盛り返したものの前年同期に比べ減少しましたが、加工部門が好調を維持したことにより売上高は前年同期を若干上回りました。利益面につきましては、昨年高価格帯の販売が奏功した機械部門の減少を加工部門でカバーしきれず、前年同期を下回りました。その結果、売上高は2,100百万円(前年同期比3.3%増)、セグメント利益(営業利益)は492百万円(前年同期比9.4%減)となりました。なお、売上高につきましては、セグメント間の内部売上高13百万円を含んでおります。

③ 自動車関連事業

純木製ステアリングハンドルの販売数量は前年同期並みであったものの、3Dドライ転写ハンドル及び1月から生産開始された全周革ステアリングハンドルが順調に推移したことから、売上高は前年同期を上回りました。利益面につきましては、付加価値の高い製品の販売が減少したことから前年同期を下回りました。その結果、売上高は2,293百万円(前年同期比45.3%増)、セグメント利益(営業利益)は6百万円(前年同期比11.0%減)となりました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,121,010	2,067,825
受取手形及び売掛金	1,789,473	1,899,695
たな卸資産	3,540,487	3,861,810
その他	505,641	460,478
貸倒引当金	△719	△479
流動資産合計	7,955,892	8,289,331
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,473,090	1,450,344
機械装置及び運搬具(純額)	1,234,326	1,280,944
土地	1,687,995	1,687,995
その他(純額)	169,518	167,614
有形固定資産合計	4,564,931	4,586,899
無形固定資産		
のれん	33,983	8,495
その他	73,033	59,554
無形固定資産合計	107,017	68,050
投資その他の資産		
投資有価証券	2,863,024	2,844,474
その他	596,014	528,381
貸倒引当金	△12,987	△12,980
投資その他の資産合計	3,446,051	3,359,875
固定資産合計	8,118,000	8,014,826
資産合計	16,073,892	16,304,157

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年10月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年7月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,149,113	1,119,913
1年内返済予定の長期借入金	—	700,000
未払法人税等	244,850	142,531
賞与引当金	133,861	207,199
役員賞与引当金	41,440	19,485
その他	762,419	414,097
流動負債合計	2,331,684	2,603,227
固定負債		
長期借入金	700,000	—
役員退職慰労引当金	142,207	146,884
退職給付に係る負債	556,808	601,322
その他	312,853	287,270
固定負債合計	1,711,868	1,035,477
負債合計	4,043,553	3,638,704
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	519,703	519,703
利益剰余金	10,127,187	10,794,483
自己株式	△78,582	△79,207
株主資本合計	11,431,435	12,098,106
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	563,196	534,896
為替換算調整勘定	35,707	32,450
その他の包括利益累計額合計	598,903	567,346
純資産合計	12,030,339	12,665,452
負債純資産合計	16,073,892	16,304,157

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
売上高	9,671,658	10,126,378
売上原価	7,735,296	8,356,269
売上総利益	1,936,361	1,770,108
販売費及び一般管理費	917,143	904,403
営業利益	1,019,218	865,705
営業外収益		
受取配当金	22,795	25,082
持分法による投資利益	32,517	57,465
助成金収入	16,733	22,534
その他	48,026	43,324
営業外収益合計	120,072	148,406
営業外費用		
支払利息	3,468	1,985
その他	2,268	1,500
営業外費用合計	5,737	3,486
経常利益	1,133,553	1,010,625
特別利益		
受取保険金	—	63,934
補助金収入	—	81,900
為替換算調整勘定取崩益	102,018	—
特別利益合計	102,018	145,834
特別損失		
固定資産除却損	—	2,632
減損損失	—	2,760
特別損失合計	—	5,393
税金等調整前四半期純利益	1,235,572	1,151,066
法人税等	359,371	365,495
四半期純利益	876,200	785,571
親会社株主に帰属する四半期純利益	876,200	785,571

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年11月1日 至平成29年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年11月1日 至平成30年7月31日)
四半期純利益	876,200	785,571
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	92,009	△30,842
為替換算調整勘定	4,443	△1,751
持分法適用会社に対する持分相当額	△89,136	1,036
その他の包括利益合計	7,316	△31,557
四半期包括利益	883,516	754,014
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	883,516	754,014

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年11月1日至平成29年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,083,830	2,008,828	1,577,890	9,670,549	1,109	9,671,658	—	9,671,658
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	24,575	—	24,575	—	24,575	△24,575	—
計	6,083,830	2,033,404	1,577,890	9,695,125	1,109	9,696,234	△24,575	9,671,658
セグメント利益	660,028	542,938	7,469	1,210,437	311	1,210,748	△191,529	1,019,218

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△191,529千円には、セグメント間取引消去2,212千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△193,742千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年11月1日至平成30年7月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃 事業	工作機械 事業	自動車 関連事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,743,279	2,086,801	2,293,016	10,123,097	3,281	10,126,378	—	10,126,378
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13,455	—	13,455	—	13,455	△13,455	—
計	5,743,279	2,100,257	2,293,016	10,136,553	3,281	10,139,834	△13,455	10,126,378
セグメント利益	552,882	492,080	6,645	1,051,609	930	1,052,539	△186,833	865,705

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、木材関連事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△186,833千円には、セグメント間取引消去1,850千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△188,683千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。